

# 環境経営レポート

2024年1月 ~ 2024年12月



®環境省

エコアクション21  
認証番号 0002843

生まれ住むまちを次世代へ。

**TEIKEI**  
ENGINEERING Co.,LTD.



## 目 次

1. 会社概要
2. 環境経営方針
3. EA 2 1 実施体制
4. 組織図
5. 環境経営目標
6. 環境経営目標の取組み実績
7. 主要な環境経営活動実施計画の内容・取組み状況
8. 環境経営活動の取組み結果の評価  
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
10. 代表者の全体評価と見直し結果

## 1. 会社概要

商号 株式会社テイケイエンジニアリング  
 所在地(本社) 〒751-0828 山口県下関市幡生町 2 丁目 4-28  
 電話番号 083-227-4560  
 FAX 番号 083-227-4565  
 URL <http://www.teikeiengineering.com>



代表者 代表取締役 井上博臣 (イノウエ ヒロミ)

営業登録  
 測量業登録 第(5)-26854  
 建設コンサルタント登録 建 05 第 9152 号  
 地質調査業登録 質 06 第 2693 号  
 補償コンサルタント 補 03 第 5280 号  
 ISO9001:2015 認証登録番号 06633  
 エコアクション 2 1 認証登録番号 0002843

### 事業所

関西支店 大阪府大阪市浪速区元町 1-11-8 2F  
 TEL. 06-6644-1731 FAX. 06-6644-1733  
 九州支店 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-10-30 2F  
 TEL. 092-260-3407 FAX. 092-260-3408  
 岩国営業所 岩国市元町-12-20 409 号  
 TEL. 0827-35-4610 FAX. 0827-35-4611  
 長門営業所 長門市東深川 976-11  
 TEL. 0837-23-2222 FAX. 0837-23-2223  
 周南営業所 周南市毛利町 2-18 108 号  
 TEL. 0834-34-1113 FAX. 0834-34-1114  
 技術職員人数 32 名



### 所属団体

公益社団法人 日本測量協会特別会員  
 社団法人 山口県測量設計業協会  
 一般社団法人 日本国土調査測量協会  
 山口県防災・砂防ボランティア協会  
 MMS 研究会 プロフェッショナルパートナー

### 沿革

平成 12 年 3 月 有限会社 コンサルタントテイケイを創設 (株式会社からの商号変更)  
 平成 12 年 6 月 測量業者登録  
 平成 16 年 3 月 代表者変更  
 平成 18 年 3 月 増資、事務所移転  
 平成 20 年 6 月 建設コンサルタント登録 (建設コンサルタント部門新設)  
 平成 21 年 12 月 商号変更、関西支店新設 (株式会社テイケイエンジニアリングに商号変更)  
 平成 26 年 12 月 地質調査業登録  
 平成 27 年 4 月 九州支店新設  
 令和元年 6 月 岩国営業所新設  
 令和 3 年 5 月 長門営業所新設  
 令和 4 年 4 月 本社事業本部新設  
 令和 6 年 12 月 周南営業所新設

事業の規模	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
売上高	2.4 億円	2.4 億円	3.7 億円
従業員数	28 人	29 人	32 人
※本社、関西支店、九州支店	19、5、4	21、4、4	23、5、4
延べ床面積	7 3 9 m <sup>2</sup>	7 3 9 m <sup>2</sup>	7 3 9 m <sup>2</sup>

## 2. 環境経営方針

### テイケイエンジニアリング 環境経営方針

#### 1 基本理念

自分たちの手で 21 世紀をどう良いものに創り上げるのか。  
それには地球上の限られた資源をシェアしている私たちが協力し、より良い環境を作り上げる  
個々の努力が大切だと考えます。  
当社は、社会資本整備に係る業務を行う企業として、事業活動領域における環境保全に配慮  
した行動を実践することにより、次世代に引継ぐ循環型社会の創造に貢献いたします。

#### 2 行動指針

1. 社会貢献につながる環境及び福祉に供する活動の推進
  - (1) 環境に配慮した設計及び現場作業の実践。
  - (2) 景観美化活動の推進。
  - (3) 技能向上によるサービス効率化の推進。
2. 社内オフィス活動における省資源・省エネルギー・リサイクルの推進
  - (1) 用紙の削減、再生品利用などの省資源化の促進。
  - (2) 電力、燃料、水道使用量等の削減を通じた省エネルギー化の促進。
  - (3) 廃棄物の削減、リサイクルの推進。
  - (4) 環境に配慮した商品を優先的に購入する。
3. 環境目標の設定
  - (1) 組織・運営体制を整備し、具体的に取り組む環境目標を設定する。
  - (2) 責任の所在を明確にすることにより、環境保全・改善に努める活動を進める。
4. 法規制等の遵守と継続的改善
  - (1) 環境関連の法規制及び当社が同意するその他の要求事項の遵守に努める。
  - (2) 当社の環境方針を実行し、定期的に点検見直しを行い継続的な改善を図る。
5. 職員の環境教育の徹底
  - (1) 環境方針の理解。
  - (2) 社内オフィス活動における省資源・省エネルギー・リサイクルの教育の実践。

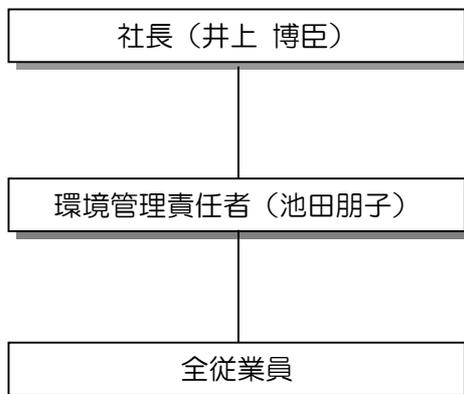
平成 31 年 1 月 27 日

株式会社テイケイエンジニアリング

代表取締役 **井上博臣**

## 3. EA21実施体制

株式会社 ティケイエンジニアリング EA21組織図



### 適用範囲

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. 対象事業所  | 本 社・ 関西支店<br>九州支店 |
| 2. 対象活動範囲 | 全活動               |

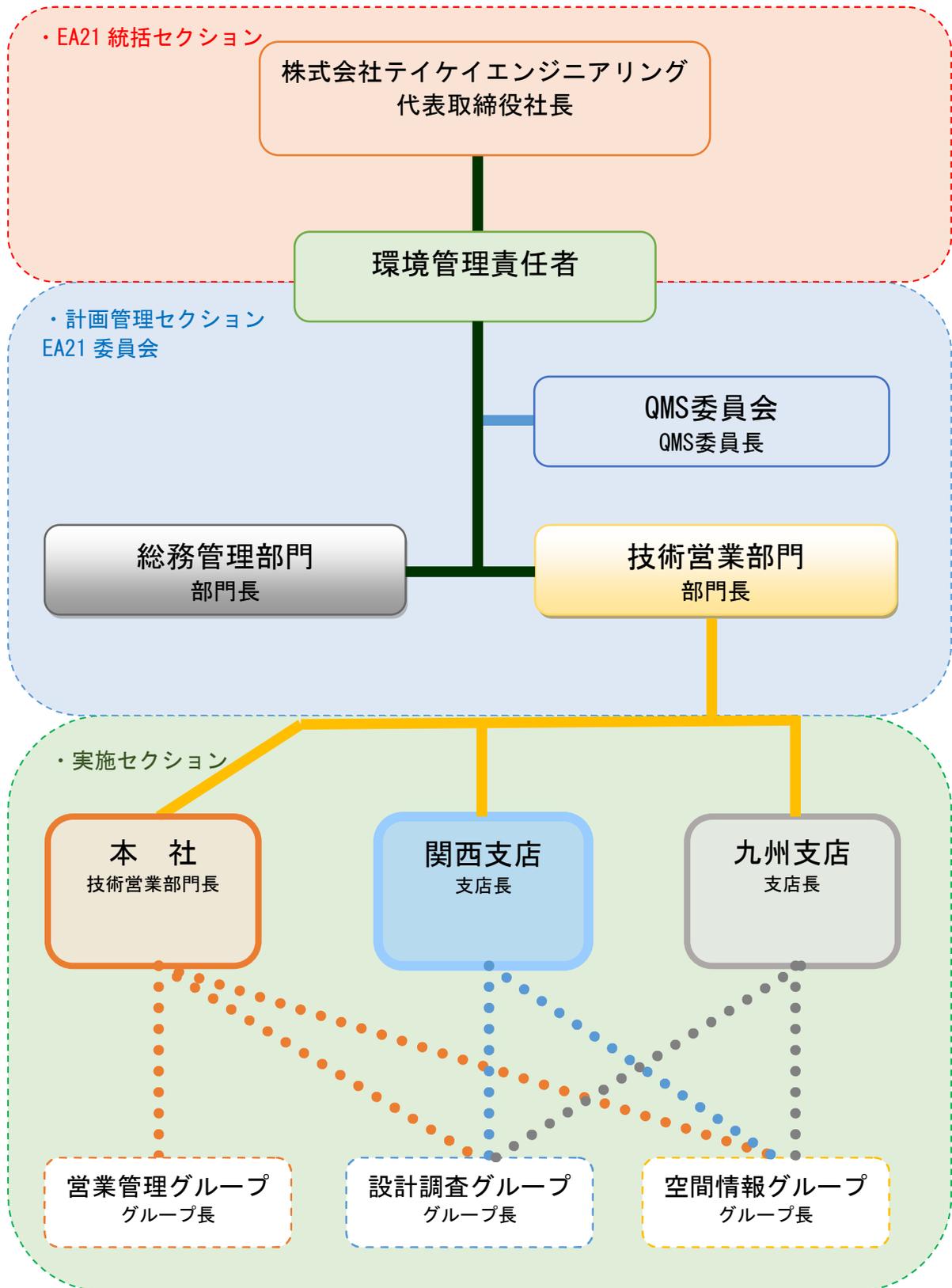
### 役割・責任・権限

- |    |   |
|----|---|
| 社長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 環境経営に関する統括責任</li> <li>b. 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能技術者の用意</li> <li>c. 環境管理責任者の任命</li> <li>d. 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>e. 環境経営目標設定の承認</li> <li>f. 代表者による全体の評価と見直しの実施</li> <li>g. 環境経営レポートの承認</li> </ul> |
|----|---|

- |         |   |
|---------|---|
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>b. 関連法規制等登録簿の作成</li> <li>c. 環境活動実施計画書の作成</li> <li>d. 環境活動の取組結果の代表者への報告</li> <li>e. 環境経営レポートの作成</li> <li>f. 環境経営システムの実施</li> <li>g. 従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>h. 手順書作成及び運用管理</li> </ul> |
|---------|---|

- |                |   |
|----------------|---|
| 技術営業部<br>総務管理部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 環境管理責任者への環境目標及び環境活動実施計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>b. 問題点の発見、是正、予防処置</li> <li>c. 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>d. 省エネルギー（二酸化炭素排出量削減）、節水、廃棄物排出量削減及びグリーン購入推進のそれぞれについて、全社活動の推進</li> <li>e. 作業の効率化の増進</li> </ul> |
|----------------|---|

## 4. 組織図



## 5. 環境経営目標

### 環境経営目標

過去の取組みを踏まえて、更なる省エネ化、効率化を目指した活動を行う。  
そのうえで、社会貢献につながる環境及び福祉に供する活動の推進を行う中で、企業評価を向上して環境経営方針の実現へと近づける。

#### 全社

要求事項	目標項目	基準年 (2022年)	2024年	2025年	2026年
環境に配慮した事業活動	① 環境に配慮した設計及び現場作業の実践 ② 景観美化活動 ③ 技能向上によるサービス効率化の推進	—	—	—	—
CO2の削減	電力使用量削減	43,858kWh	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(43,419 kWh以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(43,419 kWh以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(43,419 kWh以下)
	ガソリン使用量削減	7,012L	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(6,941L以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(6,941L以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(6,941L以下)
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	605 kg	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(599 kg以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(599 kg以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(599 kg以下)
水使用量の削減	水使用量削減	48 m <sup>3</sup>	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(47 m <sup>3</sup> 以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(47 m <sup>3</sup> 以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(47 m <sup>3</sup> 以下)

\* 関西支店、九州支店は賃貸事務所であるので水使用量は記録が取れないため、水使用量の削減においては維持活動を行う。  
\* 基準年(2022年)は期中(4月末)での本社移転となり、本社移転後の実績だけでは、本社の年間排出量と誤差を生じるため、移転前(1~4月)の排出予定数量を加算した数量とした。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 6. 環境経営目標の取組み実績

本社（総量）

要求事項	項目	単位	2024 年度目標	2024 年実績 (今期)	評価
CO2 の削減	本社の総量	kg-CO2	30,620	31,489	×
	① 電力使用量の削減	kWh	33,055 (*2)	37,584	×
	② ガソリン使用量の削減	L	3,311	2,330	○
廃棄物の削減	③ 事業系一般廃棄物の削減	kg	456	363	○
水使用量の削減	④ 使用量の削減	m <sup>3</sup>	48	69	×
環境に配慮した事業活動	⑤ ・環境に配慮した設計及び現場作業の実践 ・景観美化活動 ・技能向上によるサービス効率化の推進。	各案件	・エコ商品取扱業者からの購入 ・花いっぱい活動参加（年二回） ・社内清掃整理（毎週木曜日）	・エコ商品取扱業者からの購入 ・花いっぱい活動参加（年二回） ・社内清掃整理（毎週木曜日）	

\*二酸化炭素排出係数 0.694 kg-CO2/ kWh(H28年度中国電力株式会社)

\*2 基準年(2022年)は期中(4月末)での本社移転となり、本社移転後の実績だけでは、本社の年間排出量と誤差を生じるため、移転前(1~4月)の排出予定数量を加算した数量とした。

### ① 電力の削減

本社事業本部新設後の値は、2022年と比較して増加傾向にある。

### ② ガソリンの削減

ガソリン使用量は減少している。

### ③ 事業系一般廃棄物の削減

大きく削減できている。

### ④ 水道水の削減

業務の増加により増加している。

### ⑤ 環境に配慮して事業活動

エコ商品取扱業者から購入、花いっぱい計画参加（年二回）、社内清掃・整理（毎週木曜日）等を実行した。

# 環境経営レポート

発行日

2025. 2. 18

文書番号

TK-EA21-2024

## 関西支店（総量）

要求事項	項目	単位	2024 年度目標	2024 年実績 (今期)	評価
CO2 の削減	関西支店の総量	kg-CO2	8,344	7,144	○
	① 電力使用量の削減	kWh	4,692	4,880	×
	② ガソリン使用量の削減	L	2,193	1,620	○
廃棄物の削減	③ 事業系一般廃棄物の削減	kg	96	90	○
水使用量の削減	④ 使用量の削減	m <sup>3</sup>	・水の使用量削減、維持活動を行う	・水の使用量削減、維持活動を行う	○
環境に配慮した事業活動	⑤ ・環境に配慮した設計及び現場作業の実践 ・景観美化活動 ・技能向上によるサービス効率化の推進。	各案件	・エコ商品取扱業者からの購入 ・花いっぱい活動参加（年二回） ・社内清掃整理（毎週土曜日）	・エコ商品取扱業者からの購入 ・社内清掃整理（毎週土曜日）	

※二酸化炭素排出係数 0.493 kg-CO2/kWh (H28年度関西電力株式会社)

### ① 電力の削減

大きく削減できている。

### ② ガソリンの削減

わずかに増加している。

### ③ 事業系一般廃棄物の削減

減少している。

### ④ 水使用量の削減

使用量削減に努めた。

### ⑤ 環境に配慮して事業活動

エコ商品取扱業者から購入、社内清掃・整理（毎週土曜日）等を実行した。

# 環境経営レポート

発行日

2025. 2. 18

文書番号

TK-EA21-2024

## 九州支店（総量）

要求事項	項目	単位	2024 年度目標	2024 年実績 (今期)	評価
CO2 の削減	九州支店の総量	kg-CO2	7,274	5,909	○
	① 電力使用量の削減	kWh	5,673	5,226	○
	② ガソリン使用量の削減	L	1,438	984	○
廃棄物の削減	③ 事業系一般廃棄物の削減	kg	47	40	○
水使用量の削減	④ 使用量の削減	m <sup>3</sup>	・水の使用量削減、維持活動を行う	・水の使用量削減、維持活動を行う	○
環境に配慮した事業活動	⑤ ・環境に配慮した設計及び現場作業の実践 ・景観美化活動 ・技能向上によるサービス効率化の推進。	各案件	・エコ商品取扱業者からの購入 ・社内清掃整理（毎週土曜日）	・エコ商品取扱業者からの購入 ・社内清掃整理（毎週土曜日）	

※二酸化炭素排出係数 0.463 kg-CO2/ kWh (H30年度九州電力株式会社)

① 電力の削減

減少している。

② ガソリンの削減

減少している。

③ 事業系一般廃棄物の削減

減少している。

④ 水使用量の削減

使用量削減に努めた。

⑤ 環境に配慮して事業活動

エコ商品取扱業者から購入、社内清掃・整理（毎週木曜日）等を実行した。

## 全社合計環境負荷量

要求事項	項目	単位	2024 年度目標	2024 年実績 (今期)	評価
CO2 の削減	総量	kg-CO2	46,238	44,542	○
	① 電力使用量の削減	kWh	43,420	47,690	×
	② ガソリン使用量の削減	L	6,942	4,934	○
廃棄物の削減	③ 事業系一般廃棄物の削減	kg	599	493	○
水使用量の削減	④ 使用量の削減	m <sup>3</sup>	48	69	×

## 7. 主要な環境経営活動実施計画の内容・取組み状況

### (1) 環境へ配慮した活動及びその他の取組み



#### ◎ 全体

- 下関花いっぱい計画（下関景観協議会主催：年2回）への参加



- 現場への移動時エコドライブに努め、環境負荷低減を目指す。
- 毎週木曜日（関西支店・九州支店は毎週土曜日）に啓蒙活動として、社内清掃および整理に取り組み、リサイクル活動や資源の分別を行っており、今後も継続していく。

#### ◎ 設計調査グループ

環境整備に係わる設計業務を受託

令和6年度 火の山公園ほか災害復旧工事に伴う測量設計業務

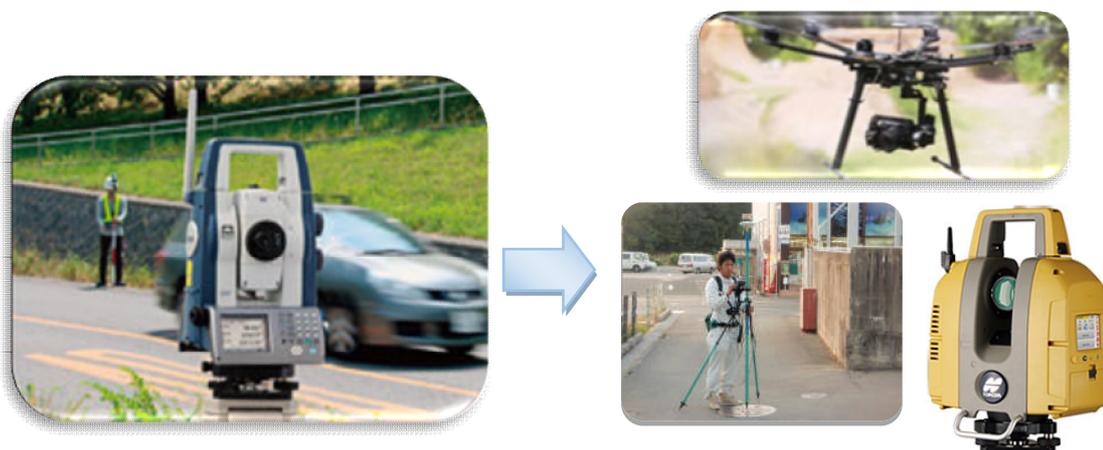
令和6年度 一般国道491号外 災害復旧工事に伴う測量設計業務委託 第3工区

…豪雨災害によって被災した河川護岸について生息する動植物等河川環境に配慮した護岸復旧計画を実施

#### ◎ 空間情報グループ

作業の効率化による省エネ化を実践

測量作業に3Dソリューションを用いることで、現場作業での人員と時間の短縮を図る。



# 環境経営レポート

発行日  
2025. 2. 18

文書番号  
TK-EA21-2024

## (2) 数値目標に対する取組み

### CO2削減

環境目標	具体的な取組み	取組み状況及び評価
<b>電力使用量の削減</b>  	照明は、晴天時は極力点灯しない。 OA 機器は使わない時は、省電力モードか電源を切る。 冷暖房温度は室温を夏季 25℃、冬季 22℃に設定する。	照明の使用手順は守られている OA 機器の使用手順は守られている 冷暖房の使用手順は守られている
<b>ガソリン使用量の削減</b>  	やさしい発進の心がけ・加減速の少ない運転・早めのアクセルオフ・エアコンの使用を控える・アイドリングストップ・暖機運転は 1 分程度・道路交通情報の活用・タイヤの空気圧・不要な荷物を積まない・各車の燃費計測	ガソリン使用量削減、手順は守られている

### 事業系一般廃棄物の削減

環境目標	具体的な取組み	取組み状況及び評価
<b>紙の排出量削減</b>  	内部資料（会議・打合せ等）は両面印刷、裏紙利用を励行し、紙使用・排出量を削減する。	一般廃棄物の分別・削減手順は守られている

### 総排水量の削減

環境目標	具体的な取組み	取組み状況及び評価
<b>水使用量の削減</b>  	節水効果の有る機器の導入 食器、手洗い時に節水に心がける	節水使用手順は守られている

### 取組み結果

- ・ 総合的に見て、エコアクションの取組み目標の達成ができた。
- ・ 今後も継続して目標を達成できるように取組んでいく。

## 8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### 次年度の環境経営目標

要求事項	目標項目	基準年 (2022年)	2025年	2026年	2027年
環境に配慮した事業活動	④ 環境に配慮した設計及び現場作業の実践 ⑤ 景観美化活動 ⑥ 技能向上によるサービス効率化の推進	—	—	—	—
CO2の削減	電力使用量削減	43,858kWh	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(43,419kWh以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(43,419kWh以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(43,419kWh以下)
	ガソリン使用量削減	7,012L	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(6,941L以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(6,941L以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(6,941L以下)
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	605 kg	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(599 kg以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(599 kg以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(599 kg以下)
水使用量の削減	水使用量削減	48 m <sup>3</sup>	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(47 m <sup>3</sup> 以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(47 m <sup>3</sup> 以下)	2022年の実績マイナス1.0%を目標とする(47 m <sup>3</sup> 以下)

\* 関西支店、九州支店は賃貸事務所であるので水使用量は記録が取れないため、水使用量の削減においては該当なしとする  
\* 基準年(2022年)は期途中(4月末)での本社移転となり、本社移転後の実績だけでは、本社の年間排出量と誤差を生じるため、移転前(1~4月)の排出予定数量を加算した数量とした。

### 次年度の環境活動計画

- ・ 2024年度の実績を継続する。
- ・ 全社において、引き続き電気使用量の削減を重点項目とする。

## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果違反は無し。  
関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去4年間無し。

廃棄物処理法	適合
下関市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	適合
労働安全衛生法	適合
フロン排出抑制法	適合
消防法	適合

## 10. 代表者の全体評価と見直し結果

このエコアクション21に取り組んでいくなかで、省エネに対する意識は出来上がっているが、継続して環境に配慮するというマインドを維持することが大切であることから、数値目標を設定することは重要であると考えられる。

しかし、作業効率を向上することでの費用対効果を検証するうえでは、まだまだ最適であるとは言えないことから、仕事の上で効率を高める施策を取り入れていきたい。

令和7年2月18日

株式会社テイケイエンジニアリング

代表取締役 **井上博臣**

環境管理責任者 **池田朋子**